

<令和7年度 研究助成課題の募集のご案内>

公益財団法人 高速道路調査会では、総合研究委員会のもとに組織する3つの研究部会（経済・経営研究部会、道路・グリーンインフラ研究部会、交通・サービスクオリティ研究部会（《参考》参照））において、高速道路に関する調査研究活動を行っています。これらの研究活動を推進する一環として、関連する調査研究活動に対し広く一般に研究助成を実施しています。なお、多数の若手・中堅の研究代表者からの応募をお待ちしております。

つきましては、令和7年度の研究助成について研究課題を募集しますので、応募される方は募集要領に従い応募申請書を提出して下さい。

研究助成募集要領

1. 助成対象とする研究

高速道路等に関連する社会的、経済的、技術的な課題の研究とします。ただし、その内容が、既に研究発表がなされた研究でないこと、または既に発表された研究から容易に導き出せる研究でないことを条件とします。

2. 研究期間

令和7年4月から令和8年3月までの1年間を原則とします。

3. 応募資格

上記1.の研究を主として行う者であることとします。また、複数機関からの助成により研究を行う場合も応募可能としますが、応募者の責任で助成を受ける他機関の了承を得るものとし、当法人から受ける助成金の使途については、他機関の研究内容と重複しないこととします。

大学院生や特任研究員が研究代表者となることも可能ですが、その場合は必ず指導教員若しくは受入教員を共同研究者としてください。

4. 助成金額

1件あたりの助成上限額は150万円とします。また、助成金総額は概ね1,200万円程度とします。

5. 応募方法

応募申請書に必要事項を記入の上、募集期間内にEメールで提出して下さい（応募申請書は、当法人ウェブサイト（<https://www.express-highway.or.jp/assist/research.html>）からダウンロードして下さい）。

6. 募集期間

令和6年12月1日(日)から令和7年1月31日(金)までとします。

7. 選考の方法

各研究部会委員による審査結果をもとに各部会で選考し、総合研究委員会において決定します。審査項目は《参考》をご覧ください。

8. 結果の通知

助成者決定後、応募者に採・否の結果を通知します。

9. 助成研究を行う者の義務等

①研究成果について、令和8年5月末までに以下（イまたはロ）のいずれかを選択し、同年7月末までに当法人の機関誌『高速道路と自動車』へ提出又は投稿。

イ「報告」として提出（A4版4ページ程度（約5,000字））

ロ「研究論文」として投稿（レフェリー審査付き、A4版6ページ程度（約8,000字））

②当法人が主催する研究発表会（令和8年夏開催予定）において、研究成果を発表（発表資料は、当法人ウェブサイト上でも公表予定）。

③当法人の研究部会（令和8年秋開催予定）において、研究成果を報告。

④研究成果を他機関で発表または投稿する場合（講演会、学会誌、機関誌等）は、当法人の研究助成対象であることを明記するとともに発表論文（写し）等、発表または投稿した内容を当法人まで送付。

お問い合わせ・応募先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17 虎ノ門2丁目タワー10階 公益財団法人 高速道路調査会

経済・経営研究部会：狩野（かのう）

道路・グリーンインフラ研究部会：清水（しみず）

交通・サービスクオリティ研究部会：安松谷（やすまつや）

TEL 03-6550-9115 FAX 03-6550-9117

E-mail kenkyu-josei@express-highway.or.jp

（応募申請書に関するお問い合わせは、募集期間内の平日9時から17時の間で対応いたします。）

《参 考》

1. 各研究部会の所掌範囲

① 経済・経営研究部会

高速道路整備による経済効果、有料道路制度、総合交通政策および道路事業の推進や枠組み、関連する法令などについての調査研究（キーワード：「経済効果」、「道路制度」、「料金」、「経営」、「総合交通政策」および「道路事業の関連法令等」）

② 道路・グリーンインフラ研究部会

高速道路の建設と維持管理、景観、環境および道路緑化の向上と啓発についての調査研究（キーワード：「道路本体構造」、「施設」、「道路建設」、「維持管理」、「景観」、「環境」、「カーボンニュートラル」および「道路緑化の向上と啓発」）

③ 交通・サービスクオリティ研究部会

高速道路の交通安全対策、利用者へのサービス、道路機能、道路の高度活用、防災についての調査研究（キーワード：「高速道路交通の技術」、「情報提供」、「利用者へのサービス」、「道路・休憩施設の機能・活用」、「道路の高度活用」、「防災」および「観光」）

2. 審査項目

- ① 目的：研究の目的が明確に示されており、研究内容が高速道路等に関連するものであること。
- ② 公益性：当法人の活動趣旨に鑑み、研究内容が広く一般国民に還元されるなど、公益性を有するものであること。
- ③ 貢献度：研究手法の信頼性が高く、研究成果が実用的で社会に貢献することが期待されるものであること。
- ④ 独創性・発展性：研究内容が優れた独創性・高い発展性を有するものであること。
- ⑤ 方法の妥当性：研究の方法が妥当性を有するものであること。

3. 審査委員

各研究部会の委員が審査委員を務めます。審査委員につきましては、別紙①から③をご覧ください。

以上

最近の研究助成課題（研究中含む）

経済・経営研究部会関係

- ポストコロナ時代におけるスマートIC周辺エリアの社会経済効果の評価に関する研究
- 高速道路事業の評価における費用便益分析と多基準分析の総合的評価手法に関する研究 - 持続可能な社会資本整備のための意思決定支援
- 高速道路SA/PAの地域密着型サービス施設としての利活用促進事業とエリアマネジメントに関する研究

道路・グリーンインフラ研究部会関係

- 鋼道路端の腐食損傷部に対する当て板溶接補修に関する研究
- 時間反転法を用いた鋼床板中の疲労き裂検出のためのDX超音波非破壊検査の開発
- 岩内微生物による岩石風化と切土のり面崩壊プロセスの関連性解明
- 腐食した鋼ケーブル系部材の残存耐力評価法に関する研究
- 高強度の降雨イベントに対応する新しい緑化基盤の開発に関する研究

交通・サービスクオリティ研究部会関係

- 精緻な高速道路の運用と維持管理に向けた動的な起終点交通量の確率論的予測
- 自然斜面・切土・盛土を統合した道路法面地震リスク評価と集落孤立予測のための基礎的研究
- 高速道路長距離運転ドライバーの休憩行動を考慮したSA/PA整備に関する研究
- 北海道におけるインバウンドの高速道路の利用流動と滞留都市に関する研究

【審査委員】経済・経営研究部会

令和6年10月1日現在(敬称略)

	氏 名	所属機関・役職名
部会長	根 本 敏 則	敬愛大学経済学部教授
委 員	加 藤 一 誠	慶應義塾大学商学部教授
委 員	竹 内 健 蔵	東京女子大学現代教養学部教授
委 員	田 邊 勝 巳	慶應義塾大学商学部教授
委 員	手 塚 広 一 郎	日本大学経済学部教授
委 員	寺 田 一 薫	福島学院大学マネジメント学部教授
委 員	二 村 真 理 子	東京女子大学現代教養学部教授
委 員	山 内 弘 隆	一橋大学名誉教授
委 員	野 村 浩	(株)ネクスコ東日本エンジニアリング アドバイザー
高速道路会社 委 員	柿 内 宏 一	東日本高速道路(株)経営企画本部 経営企画部 経営企画課長
高速道路会社 委 員	原 田 雅 也	中日本高速道路(株)経営企画本部 経営企画部 経営企画課長
高速道路会社 委 員	松 本 崇	西日本高速道路(株)経営企画本部 経営企画部 企画担当課長
高速道路会社 委 員	山 中 聡	首都高速道路(株)経営企画部 経営戦略課長
高速道路会社 委 員	村 上 陽 二 郎	阪神高速道路(株)計画部 事業計画課長
高速道路会社 委 員	萬 城 基 樹	本州四国連絡高速道路(株)企画部 経済調査課長

【審査委員】道路・グリーンインフラ研究部会

令和6年10月1日現在(敬称略)

	氏 名	所属機関・役職名
部会長	西 村 和 夫	東京都立大学 名誉教授
委 員	高 橋 修	長岡技術科学大学 工学部環境社会基盤系 教授
委 員	若 井 明 彦	群馬大学 環境創生部門 社会基盤防災コース 教授
委 員	舘 石 和 雄	名古屋大学 工学研究科 土木工学専攻 教授
委 員	長 山 智 則	東京大学 大学院 工学系研究科 教授
委 員	八 木 知 己	京都大学 大学院 工学研究科 教授
委 員	中 村 光	名古屋大学 大学院工学研究科 土木工学専攻 構造・材料工学 教授
委 員	藤 山 知 加 子	横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 都市イノベーション部門 教授
委 員	山 本 早 里	筑波大学 芸術系 教授
委 員	小 野 隆	日本大学 非常勤講師
委 員	飯 島 健 太 郎	東京都市大学 環境学部 環境創生学科 大学院環境情報学研究科 環境情報学専攻 教授
委 員	上 田 俊 也	東日本高速道路(株)技術本部 技術・環境部長
委 員	江 良 嘉 宏	中日本高速道路(株)技術本部 環境・技術企画部長
委 員	池 聖	西日本高速道路(株)技術本部 技術環境部長
委 員	田 中 克 彦	(株)高速道路総合技術研究所 道路研究部長(兼)交通環境研究部長
委 員	高 野 正 克	首都高速道路(株)更新・建設部長
委 員	伊 藤 学	阪神高速道路(株)技術部長
委 員	竹 口 昌 弘	本州四国連絡高速道路(株)保全部 長大橋・技術部長
顧 問	藤 野 陽 三	城西大学 学長

【審査委員】交通・サービスクオリティ研究部会

令和6年10月1日現在(敬称略)

	氏 名	
部会長	大 口 敬	東京大学 生産技術研究所 教授
委員	赤 羽 弘 和	千葉工業大学 創造工学部 都市環境工学科 教授
委員	大 原 美 保	東京大学大学院 情報学環 総合防災情報研究センター 東京大学 生産技術研究所 教授
委員	越 村 俊 一	東北大学 災害科学国際研究所 教授
委員	野 口 洋 平	愛知淑徳大学 交流文化学部 教授
委員	日 比 野 直 彦	政策研究大学院大学政策研究科政策専攻 教授
委員	室 町 泰 徳	東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
委員	森 本 章 倫	早稲田大学 創造理工学部 教授
委員	山 本 理 佳	立命館大学 文学部 地域研究学域 教授
委員	橘 孝 則	前田道路(株) 執行役員 営業本部 常務理事
委員	金 田 泰 明	東日本高速道路(株) 管理事業本部 保全部長
委員	小 林 憲 史	東日本高速道路(株) サービスエリア・新事業本部 サービスエリア事業 部長
委員	村 上 修 一	中日本高速道路(株) 保全企画本部 保全交通担当部長 (兼)防災担当部長
委員	川 頭 孝 浩	中日本高速道路(株) 事業開発・推進本部 サービスエリア事業部長
委員	本 園 民 雄	西日本高速道路(株) 保全サービス事業本部 保全サービス事業部長
委員	喜 久 里 真 二	西日本高速道路(株) 事業開発本部 事業開発部長
委員	草 壁 郁 郎	首都高速道路(株) 計画・環境部長
委員	林 田 充 弘	阪神高速道路(株) 保全交通部長
委員	鳥 羽 保 行	本州四国連絡高速道路(株) 保全部長
委員	田 中 克 彦	(株)高速道路総合技術研究所 道路研究部長(兼) 交通環境研究部長